

第2学年生活科学学習指導案

東京学芸大学附属小金井小学校

指導者 齊藤和貴

1. 単元名『未来に向かって自分たんけん』

2. ねらい

○誕生から現在までの自分の成長の様子に関心をもって調べ、自分の成長を喜び支えてくれた人々に感謝しながら、自信をもって意欲的に生活しようとする。(関心・意欲・態度)

○自分の知りたいことを適切にインタビューしたり、思い出の物と対話したりしながら、気付いたことや考えたこと、これからの成長の願いなどを工夫して表現したり、紹介し合ったりすることができる。(思考・表現)

○互いの成長を見つけ合ったり話し合ったりすることを通して自分のよさに気付いたり、自分ができるようになったことがたくさんあることや、自分の成長が多くの人に支えられていることに気付いたりすることができる。(気付き)

3. 単元の指導計画 (全14時間)

- 第0次：1年生と一緒に遊ぼう……………(1時間)
今の自分を等身大ポスターに描こう(図工扱い)……………(5時間)
- 第1次：何が変わったのかな?……………3時間
- 第2次：自分探検に出発だ!～世界に1枚の「自分たんけんポスター」づくり……………7時間
- 第3次：キラッと光る自分を知ってもらおう……………2時間
- 第4次：未来の「自分」に会いに行こう……………2時間

時	学習活動のねらいと児童の活動	○支援・手立て	□資料
① ② ③	1. 入学してからできるようになったことや成長したところを見つける。 ・2年間の自分の作品やカードなどをもとに振り返る。 ・絵本をもとに「成長」の意味を考え、いろいろな視点で自分の「成長」を見つける。 ・友だちとできるようになったことを教え合う。	○入学時と現在のスナップ写真を比べ、同じ自分であるが、「違う自分」でもあり、成長していることに気付けるようにする。 ○友だちのよさを見つけたり教えたりしながら、互いの成長を喜べる雰囲気をつくる。 ○絵本資料をもとに、自分の成長の豊かさに気付くことができるようにする。	□入学直後の児童の写真と現在の写真 □『おおきくなるっていうことは』(童心社)
④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	2. 入学する前の自分を探検しながら、「世界にたった一つの自分物語」を作る。 ・幼稚園の保育の様子を見学し、自分が小さかったときのことに興味をもつ。 ・家の人やお世話になった人にインタビューをする。 思い出の出来事や場所、品物エピソード、そのときの気持ちなど ・自分が使っていたものや身に付けていたもの、写真などを通して、そのころの自分のことを思い出したり、今の自分と比べたりする。 ・調べたことや気付いたことをもとに、工夫しながらまとめる。 ・カルタ・絵本・カードなど	○幼稚園児の保育の様子を参観したり、思い出のものを見せ合ったりしながら互いのことを知り、自分が小さい頃のことを思い出すことができるようにする。 ○インタビューの対象は、家族・幼保の先生・近所の人・お世話になった人などがいることに気付かせ、学級だよりを通して各家庭に協力を依頼する。 ○調べ活動では、児童の姿だけではなく、そのときの家の人などの思いや願いに気付くことができるようにする。	□小さいときの服・靴・写真・思い出の品、メッセージなど。 □『ほいくえんのいちにち』(校成出版社) □『あなたの小さかったとき』(福音館) □『あかちゃんてね』(小学館) □『おかあさんはね、』(ポプラ社)

<p>⑪</p> <p>⑫</p>	<p>4. すてきな自分を知ってもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめた作品を友だちに見せたり紹介したりする。 ・お互いのよさやすてきなところを認め合ったり、喜び合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発表は二人一組や少人数グループなど、多様な活動形態を工夫する。 ○互いのよさを認めあえるようにあたたかい雰囲気作りをつくり、一人ひとりが自信をもてるような声掛けをする。
<p>⑬</p> <p>⑭</p>	<p>5. 未来の自分に会いに行こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからどんな成長をしたいか、カードにかく。 <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジしてみたいこと ・……できるようになりたい ・上級生の授業の様子を参観して、学校生活への期待感をもつ ・6年生の卒業式の練習を見学に行こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○上級生の授業や卒業式の練習の様子を見学し、自分が近い将来どんな学習や生活をするのかを調べ、自分なりのイメージをもち、互いに励まし合えるようにする。 ○自分の夢や期待感を発表し、そのためには今の自分に何が必要かを考えるように促す。 <p><input type="checkbox"/> 『あしたのぼくは…』 (ポプラ社)</p>